

比治山公園を丸一日楽しめるイベントプログラムについて検討

比治山公園での新たな楽しみ方や活動について考える『比治山公園ワークショップ』。その最終回となる3回目が6月11日(土)に南区役所別館4階会議室で開催され、総勢28名の参加者が集まりました。

最終回のワークショップでは、『比治山公園の名物イベントを考えよう!』と題し、第2回ワークショップで考え出された活動メニューを組み合わせ、比治山公園を丸一日楽しめるイベントプログラムについて考え、話し合いました。

まずは、これまでと同じグループに分かれた後、2回目に考えた活動メニューを各自振り返り、それらを組み合わせたイベントプログラムの内容を考えました。

次に、イベントプログラムの実現に向けて、ソフト・ハードの両面から課題や要件について意見交換を行いました。そして、最後にグループで話し合ったことをまとめて、発表しました。



●第1回ワークショップ

4月16日(土) 13:30～17:00 放射線影響研究所 2F 講堂

『比治山公園のお宝を探そう!』
公園内を一緒に歩き“ひかる”資源を探し
その楽しみ方や活用方法を考えます



●第2回ワークショップ

5月14日(土) 14:00～16:00 南区役所別館 4F 会議室

『比治山公園での新たな活動を考えよう!』
前回考えた楽しみ方や活用方法を新たな活動へと高めます



●第3回ワークショップ

6月11日(土) 14:00～16:00 南区役所別館 4F 会議室

『比治山公園の名物イベントを考えよう!』
活動メニューを一つにつなぎ
比治山公園を丸一日楽しめるイベントプログラムを考えます

前回の振り返りと今回の目的

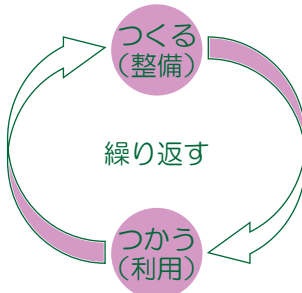
↓
イベントプログラムの検討

↓
発表・意見交換

イベントプログラムの検討を通じ、各グループで考えたイベントの対象者と狙い、内容及び実施に向けた課題や要件について、概ね以下のことが分かりました。

- イベントの対象者→親子の利用を中心にしつつ、将来的に観光客の利用へと波及させることを目指す。
- イベントの狙い→まずは「比治山公園」の魅力を広く知らせ、「比治山公園」の特徴的な資源(自然環境・景観系, 歴史・文化財系等)ごとに、それぞれの分野に精通した団体が、来訪者にプログラムを提供することにより、主催者も参加者も満足できるイベントとする。
- イベントの内容→多様な活動メニューの中から選択できる参加型のプログラムを提供し、一時的なイベントとせず継続的に行っていく。
- 実現に向けた課題や要件→ソフト面では、資源やプログラムごとの部会など検討の場の設置や、人材の確保・育成、活動資金の確保が必要となる。また、ハード面では、最低限の施設整備として、簡易ステージの設置を始め、水道や電気、駐車場、良好な交通アクセスの確保、案内板の充実等が必要となる。

各グループで検討された試行イベントプログラムの検討結果（要約）

イベント名	比治山公園をつくる／つかうイベント	1 班
イベントの対象者と狙い		
【対象者】 ○大人及び子供（子供も遊びながら参加し、親子で実施） 【狙い】 ○比治山公園の再整備に当たり、市民の手で実施できる整備から着手し、利用しながら改良を重ねることで、<u>比治山公園への市民の関心を高める</u>。（このイベントを継続させることにより、「夜光る眺めの良いレストラン」の整備や「屋外ストリートファニチャー芸術化計画」へも好影響をもたらすことが期待される。） ○また、子供もイベントのスタッフとしてマップづくり等に参加させることにより、<u>子供の公園に対する愛着心もはぐくむ</u>。 ○さらに、比治山公園が持つ防災拠点としての機能を適切に発揮できるよう、御便殿広場にあるマンホールトイレ等の防災施設を公開・使用することにより、<u>公園の防災機能と防災施設の使用方法を周知する</u>。		
時刻（時期）	活動メニュー内容	
	“つくる”（整備）イベント ○「マンホールトイレを活用した訓練」（イベント時には常に実施） ○「公園内道路マップづくり」（子供も参加）, 「比治山上りロネーミング」, 「開けた明るい環境づくり」 ○「植物銘板（名札）づくり」（四季ごとに何度でも実施） ○「親子で遊ぼう」（「大人の目のあるプレイパーク」をつくりながら実施） “つかう”（利用）イベント ○「比治山野外ステージ演奏会」, 「定期野外コンサート」 ○「お宝探しスタンプラリー」, 「比治山の名所・お宝に親しむプログラム」, 「ウォークラリー」 ○抽選会	

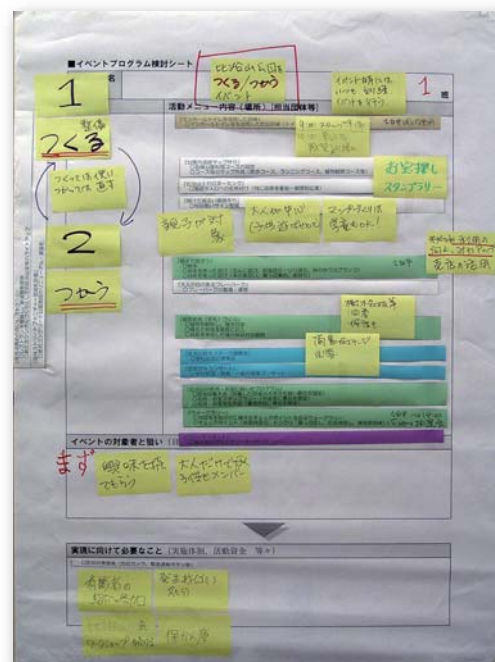
実現に向けた課題や要件

【ソフト面】

- 検討の場として、『比治山公園ワークショップ』の継続
- 検討の場への有識者の参画（紹介必要）
- 閉店中の売店の活用

【ハード面】

- 簡易ステージの設置（「比治山野外ステージ演奏会」, 「定期野外コンサート」のために必要）
- 防災・防犯設備の整備、備品保管庫の設置（防災・防犯面の整備は、主として行政が役割を担う）
- イベント時に発生するゴミ等の処分方法の検討



イベント名	比治山だからできる！比治山を満喫しよう	2 班
イベントの対象者と狙い		
【対象者】 ○地元住民・子供＋観光客 【狙い】 ○比治山公園が都心にあることや郷土であること、普段と違う遊びができることをテーマとして、公園の資源をブロックごとに分けて整理した上で、公園利用者が複数の活動メニューを選択できるようにすることで、 <u>比治山を満喫（知る・遊ぶ・食べる）</u> できることを目指す。		
時刻（時期）	活動メニュー内容	
短期的に同時集中開催	○「森林保全体験」（樹林の整備、丸太早切り大会等）、「アウトドア体験プログラム」,「自然＋スマホカメラ」,「自然の中での静的な楽しみ」（瞑想、ヨガ）,「スタンプラリーで市民参加」 ⇒自然・景観ブロック ○「全身を使って遊ぼうプログラム（泥んこプール、泥だんご）」,「自分でつくってみよう」（基地づくり、バウムクーヘンづくり等）,「アートクリエイト＋遊び」,「まんが図書館＋サブカルチャーイベント」 ⇒まんが図書館・御便殿広場ブロック ○「比治山スタンプラリー」,「頼山陽文徳殿の利用」,「放射線影響研究所の利用」,「アートものづくり＋カフェ」 ⇒歴史的文化財が点在する歩道周辺ブロック ○乗り物等（トゥクトゥク、セグウェイ、人力車、7 人乗り自転車）の楽しみ、魅力づくり ⇒各ブロック間の移動	



実現に向けた課題や要件
【ソフト面】 ○人材（実行委員・技術スタッフ（森林体験等）、ボランティア、学生） ○広報（報道）の活用、イベント情報の事前発信 ○資金の確保 【ハード面】 ○アクセス向上（めいぷるーぷの増便） ○駐車場容量の確保（段原ショッピングセンター駐車場との連携等） ○電気や水道の確保



イベント名 比治山ワクワク冒険フェス		3 班
イベントの対象者と狙い		
【対象者】 ○親子（幼児から小学生の子供） 【狙い】 ○比治山公園の緑豊かな自然環境に親しむことにより、親子のふれあいと絆を生み、“平和”につなげていく。 ○イベントの様子を SNS 等で情報発信することにより、観光客等へ PR する。		
時刻（時期）	活動メニュー内容	
春季・秋季（半日） 〈A コース〉	○ガイドツアー：「現代美術館の活用」、「グリーンレガシーネットワーク」、「頼山陽文徳殿の見学・活用」、（1 回のみの実施ではなく、シリーズ化する。【担当団体】観光アシスタントひろしま+「ひろしま通」ホスピタリティグループ（協力）	
秋季（半日） 〈B コース〉	○「子供アート体験・作品展」（御便殿広場にて実施）【担当団体】さくらっこ共同保育園（協力）	
春季（午前中） 〈C コース〉	○「森の中でワクワク冒険フェス」【担当団体】さくらっこ共同保育園（協力）	
記念行事（終日）	○「森のカフェでおもてなし」（一斗缶ロケットストーブ等を使ったクッキング、バウムクーヘンづくり。【担当団体】さくらっこ共同保育園（協力）	
	※自由にコースを選んで参加できるようにする。 ※一過性のイベントにならないよう、季節ごとの開催やシリーズ化を考える。	



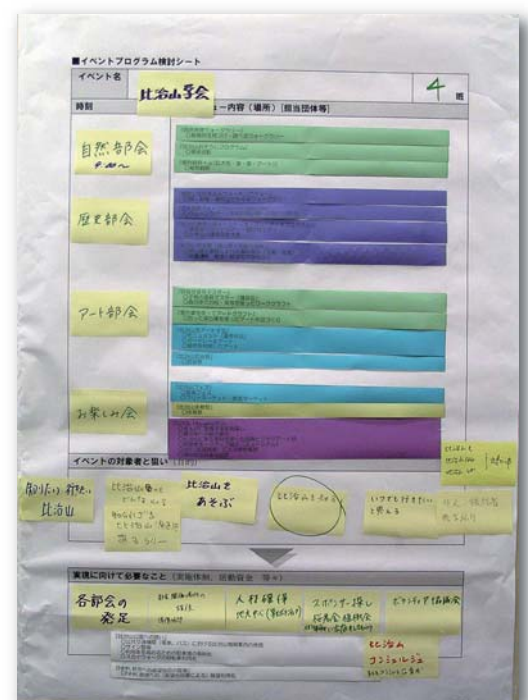
実現に向けた課題や要件
【ソフト面】 ○具体的プログラムデザイン（時間、人員）の検討及び試行 ○主催者の検討（軌道に乗るまで市や企業に協力を求める） ○活動資金（企業・商店による広告協賛により収入を得る） ○イベント参加料の検討（基本的に無料。ただし、保険料・材料費・飲食費は実費） ○人材（スタッフ、協力者）の確保 ○資料作成（ガイド用資料、冒険マップ） ○イベント広報 ○安全管理（レクリエーション保険への加入、保健衛生（食品を扱うための保健所への届出）、火気を取り扱うための消防への届出、救護対応、車両の交通整理、集合場所の決定（御便殿広場）） ○機材・原材料等必要品の調達 【ハード面】 ○見せられる、知ってもらえるような最低限の施設整備



イベント名	比治山学会	4 班
イベントの対象者と狙い		
【対象者】 ○比治山を知る者、知らない者 【狙い】 ○知られざる比治山ならではの情報や楽しみ方（遊び・学び）を提供することにより、<u>いつでも比治山を訪れたいと思わせることを目指す。</u> ○資源分野ごとに専門部会を立ち上げて、どのような活動を行うか検討することにより、<u>主催者も来訪者も満足できることを目指す。</u>		
時刻（時期）	活動メニュー内容	
	○「自然発見ウォークラリー」、「比治山おそうじプログラム」、「植物観察＋α（広 大医・歯・薬・アート）」 ⇒『自然部会』の活動 ○「歴史と文化を巡るウォーキングラリー」、「歴史発見ウォークラリー in Hijiyaama」、「比治山建築公開イベント（オープンアーキプログラム）」、「比治 山歴史館（頼山陽文徳殿の活用）」植物観察＋α（広大医・歯・薬・アート）」 ⇒『歴史部会』の活動 ○「目指せ道具マスター」、「落ち葉を使ってアートクラフト」、「比治山をアート する」、「比治山芸術祭」 ⇒『アート部会』の活動 ○各部会のお楽しみ会（「比治山フェス」、「比治山体育祭」、「COOL Hijiya PJ」） ⇒『自然部会』・『歴史部会』・『アート部会』の活動	



実現に向けた課題や要件
【ソフト面】 ○地元や学生ボランティアを中心とした各部会の発足（ボラ ンティア協議会の組織） ○部会活動やイベント開催場所の確保 ○比治山コンシェルジュ（一般及び子供）の育成 ○関係団体（まんが図書館、工業高校、マツダ、イオングルー プ）と連携 ○スポンサー（桜基金植樹会、イオンへの出店協力依頼等） の獲得 【ハード面】 ○アクセス向上（サイン整備等） ○NHK 鉄塔への展望施設の整備



■第3回ワークショップの風景



イベント
プログラムの検討



実現に向けた
課題や要件の検討



発表・意見交換

ワークショップのまとめと今後に向けて

これまで計3回に渡り、『比治山公園ワークショップ』に御参加いただき、誠にありがとうございました。

1回目では、改めて比治山公園の資源（お宝やお気に入りの場所）を探し出した上で、それらの資源を活用するためのアイデアについて考え、2回目ではそれらを基に、より具体的な活動メニューについて考えました。そして最終回となる今回は、それらの活動メニューを組み合わせたイベントプログラムについて考え、話し合いました。こうした皆様の熱心な議論から、比治山公園での新たな楽しみ方や活動に関する様々なアイデアが生まれました。

さて、広島市では、こうした皆様からいただいたアイデアなどを踏まえ、比治山公園再整備の基本的な内容を定める基本計画を策定することとしています。この基本計画は、昨年7月に策定した「比治山公園『平和の丘』構想」に基づき、備える機能や整備する施設について、大きな方向性を示すものです。

この基本計画に定める機能や施設には、行政が整備し、公園利用者に提供することで完結するものもあれば、このワークショップに参加された皆様の始めとする市民と行政とが連携して、公園利用者に対し、その体験や楽しさを提供するものも考えられます。

こうしたことから、比治山公園をより魅力的な広島市の新たな拠点にするため、今回のワークショップで生まれた絆を更に深めていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

「比治山公園再整備の基本的な内容を定める基本計画」の基となる概要図（素案）について

ワークショップの最後に御案内しましたとおり、今回のワークショップを始め、昨年7月から8月までの間に実施した「比治山公園『平和の丘』構想の実現に向けたアイデア等の募集」などでいただいたアイデアや御意見を抽出し、「比治山公園再整備の基本的な内容を定める基本計画」の基となる概要図（素案）をまとめましたので、ワークショップへ御参加いただいた皆様や近隣にお住まいの皆様に御覧いただく場を設けることとしました。この場合は、時間を決めて進行するワークショップのような形式ではなく、会場内に貼り出した概要図（素案）を自由に御覧いただきながら、皆様とお話しできればと考えていますので、以下の日程の御都合の良い時間帯にお越しください。皆様の御来場を心よりお待ちしております。

- ① 平成28年7月23日（土）13時から17時まで（御都合の良い時間帯にお越しください）
南区役所別館3階 ボランティア研修室（広島市南区皆実町一丁目4番46号：南区役所の東隣）
※ 第2回・第3回ワークショップの会場と同じ建物です。
- ② 平成28年7月30日（土）13時から17時まで（御都合の良い時間帯にお越しください）
段原西集会所（広島市南区段原二丁目11番18号）
※ 駐車場はありません。

広島市公式ホームページでのワークショップ情報の提供

比治山公園ワークショップの開催状況等について、広島市ホームページで公開しています。

これまで配布したニュースレターの原稿ファイル等もダウンロードできますのでご活用ください。

パソコンの検索エンジンで「比治山公園 ワークショップ」と検索し、「広島市 被爆70周年の取組_比治山公園ワークショップの開催」（広島市役所ホームページ）を選択してください。

〈参考 URL〉 <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/70th/contents/1463122563765/index.html>

■お問合せ先

株式会社ブレック研究所 九州事務所
〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名 2-4-19
TEL：092-771-5211
FAX：092-771-5330
E-mail：kyushu-k@prec.co.jp
担当：森本、木寺

■主 催

広島市企画総務局企画調整部政策企画課
〒730-8586
広島県広島市中区国泰寺 1-6-34
TEL：082-504-2025
担当：田尾、黒瀬